

掲示板のことば

ほんとうの
いちばん深い闇は
わかっている
という
思いです

2019. 03

「闇^{やみ}」というと、真っ暗で何も見えない…というイメージがあります。そういうところから、「闇」は、分からない、知らない、無知という意味で用いられることが多いのではないのでしょうか？

東日本大震災、そしてその地震が引き起こした津波による原子力発電所の事故を経験し、「人知^{じんち}の闇」という言葉を聞くようになりました。

人間は知識を得ることによって、何でも知っている、人知に勝るものはないという錯覚をしておりました。しかし、「想定外」という言い方で、考えも及ばなかったことが目の前の事実として、次々と起こってきました。

それが、何でも知っているという「闇」なのでしょう。すべて分かったことにしてしまい、「問う」ということをしなくなり、「ほんとう」のことが見えなくなってしまっていたのです。

「闇」とは、何も見えないのではなくて、何でも分かっていることにしてしまうことによって、「ほんとう」のことは見ようとしない私たちの傲慢^{ごうまん}さを表しているのでしょう。人知^{まんしん}に慢心することこそ、最も恐るべき「闇」なのではないのでしょうか。

真宗大谷派 光明寺住職 小林尚樹